



河辺林通信

建部北町の森から

2025年 02月号 No.322

2月8日で保全活動1000回を迎えます！ たくさんの方の手で守られている自慢の森です！



各年の2月の
作業写真を
集めました！



●1月の作業だより

第2土曜日（1月11日）

14名での活動となりました。
薪割りをみなさんで行いました。雪が降った翌日でしたが、ご参加くださり本当にありがとうございました。



本日は室内での薪割りです



集中してますね！



お母さんすごく楽しそう♪



熟練の技が見れました



この腰の入りは流石！



ちいさな子も元気いっぱい！

第3木曜日（1月16日）

13名での活動となりました。
午前中は第3駐車場出口横のケヤキの大木の下草の整備。午後からはカブトムシのベッド付近で落ち葉かきを行いました。



木のチップをひきました



まだまだ落ち葉入ります！

第4水曜日（1月22日）

11名での活動となりました。
萌芽更新エリアの林内整備では、萌芽したアラカシやササ等を手刈りした後、落ち葉かきを行いました。



丁寧な手刈りに感謝！



ふわふわの落ち葉のベッド

2025年2月の定例活動日

2/8 (土)	「保全活動1000回記念イベント」 (午前) ・林内整備など (午後) ・河辺いきものの森 所長・丸橋裕一氏による講演会 お昼はご準備いたします
2/20 (木)	・林内整備など (9:00~15:00) お昼はご準備いたします
2/26 (水)	・林内整備など (9:00~15:00) お昼はご準備いたします

- 内容については、事前にFBにて告知させていただきます。
- 天候や気温などの状況によっては、中止や時間短縮になる場合もございます。中止の場合は、ホームページやFBでお知らせします。

●1月の観察会

今回のテーマは「一月の森を観察してみよう♪」でした。今年の干支「巳」（へび）に見えるものや受験生のお守りになるヤマコウバシ、別名十両と呼ばれるヤブコウジを探したり、春を待つシュンランの花芽見つけなどをしました。新年、第一回目の活動でしたので、皆さんと野神さんにもお参りをしました。

また、前日に降った雪のお陰で見つけたのはアライグマの足跡。キツネやウサギの足跡はよく見つけますが、アライグマの足跡は初めて見ました。想定外の雪のお陰で観察会が膨らみ、色んな話題が出てきて面白くなりました。偶然だからこそ生まれるこのやり取りは、準備することの出来ないかけがえのない時間であり、人と人、人と自然をつなぐ大切に貴重な時間が生まれてくると毎回思わせていただいております。



↑みんなで野神さんに初詣です



↑アライグマの歩き方を再現するスタッフ

●モリイコ！の子どもたち



↑仲間たちと一緒に考えて組み上げた薪

第7回は「大きなたき火」と「たねちゃんを守ろう」に挑戦。たき火は今までに学んだことを応用したり、仲間同士の協力が欠かせません。回を重ねるごとにたくましい姿を見せてくれます。

詳しい活動内容は
森の歳時記へ！



↑夢中になって落ち葉をかく隊員



↑体をたくさん動かしたあとは甘いものだね♪

遊林会 最新情報 発信中！

保全活動の様子やイベント情報など、最新情報を発信しています！ぜひフォローやお友達登録してくださいね！



<http://www.yurinkai.org/>



@satoyama.yurinkai



@485ooqnn



nunobikinomori



編集後記

2月8日（土）には遊林会の保全活動1000回目を迎えます。先日、初代・山番様が河辺いきものの森を作るために始まった協議会や検討会のこと、トヨタの森への視察研修があったことなど、当時の様子を教えてくださいました。その資料だけでもかなりの情報量で「河辺林の森を守ろう」という当時の行政、市民の皆様の熱い想いを知ることができた一日でした（熊本）

【発行者】

特定非常利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp